

平成31年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	議席 番号	氏名	佐野和彦 議員	1/2
発言項目		要 旨		答弁者
1	聴覚障がい者の未来	<p>我が富士宮市では、手話が言語であるとの認識に基づき平成28年に手話言語条例を制定し、手話の啓発講座などを行い、現在手話の普及を行っている。また、磁気ループの設置や、補装具費支給制度があり、原則1割自己負担で、補聴器の交付及び修理を行うことができるが、人工内耳体外機（以下「体外機」という。）に関しては対象となっていない。県では、地域生活支援事業費の中の日常生活用具給付等事業に関するガイドラインにおいて、平成27年には単なる機種交換等では対応されず、利用者が高額を負担をしている。医療保険が適用されない場合、全国や県内の一部の自治体で支給対象としているため、体外機は情報・意思疎通支援用具に該当することも可能としており、平成30年の改正では、人工内耳用電池が対象となっている。それを踏まえ以下伺う。</p> <p>(1) 我が富士宮市で、人工内耳を使う聴覚障がいを持たれた方は何人くらいいるか。</p> <p>(2) 人工内耳に対する助成は、体外機の電池代助成のみとなっているが、体外機本体の交換の助成を今まで検討するような機会は無かったのか。</p> <p>(3) 全国で見ると多くの自治体が、体外機の助成をしているが、助成額に幅があるのはどうしてか。</p> <p>(4) 体外機本体の交換の助成ができないか市長に伺う。</p> <p>(5) 聴覚障がいの児童生徒に対し、富士宮市教育委員会ではどのような支援を行っているか。</p>		市長 副市長 教育長 関係部長
2	土砂災害警戒区域（イエローゾーン）と土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）の今後	<p>我が富士宮市は、標高35メートルから3,776メートルと全国でも一番標高差があるまちで、必然的に土砂災害区域も多く存在する。過去には、台風で甚大な被害が芝川稲子地域で起きたが、早期の復旧で現在は元に戻っている。先ごろ、静岡県では土砂災害警戒区域（イエローゾーン）と土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）の見直しが行われたが、市内に点在する土砂災害区域にどのような変化があったのか、また、指定されていないが、危険な状態の場所もある。今後どのように対策や対応をしていくのか、以下伺う。</p> <p>(1) 今回の見直しで、土砂災害警戒区域（イエローゾーン）と土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）にどのような変化が生じたか。</p> <p>(2) 土砂災害の指定はされていないが、危険な箇所はどのくらい把握しているのか。</p> <p>(3) 大岩3区の弓沢川沿いに、がけ崩れで家の庭が崩落した場所があり、8年も前から指摘していたが、今では住居まで迫っている。また、万野4区にもがけ崩れで道が落ちかかっているところがあるが、このようなところはどうか。</p> <p>(4) 住むことのできない場所になってしまった場合、何か救済策はあるのか。</p>		市長 副市長 教育長 関係部長
3	富士宮市から各区への支給品について	<p>各区にある公会堂や区民館、集会場、防災倉庫には富士宮市から多くの支給品があるが、使っている物や使いたくても使えない物など多くの物がある。各自治会が効率よく使うために、見直しは行われているか伺う。</p>		市長 副市長 教育長 関係部長

発言 順序	7	議席 番号	5	氏名	佐野和彦 議員	2/2
発言項目		要 旨				答弁者
		<p>(1) AED保管場所として、多くの区では公会堂や区民館に置かれているが、施錠されている場合、ガラスを割らないと中からAEDを取り出せないという意見を聞くが、屋外における代替案はあるか。</p> <p>(2) 防災倉庫にある可搬ポンプは、場所によってとても使い勝手が悪く、防災訓練のための物になっているが、今後もなお、踏襲して設置していくのか。</p> <p>(3) 防災無線の置き場所に困っている自治会があると聞いているが、災害時すぐに使うにはどのような保管が良いか。</p> <p>(4) 支給品をメニュー化し、区の要望に応じて支給してみたらどうか。</p>				